

愛知大学大学院 学位論文審査基準

学位論文に関して、以下のように審査基準を設定します。

法学研究科

【博士後期課程】

1. 研究課題の学術上の意義、貢献度とその独創性
2. 研究方法の適切性
3. 論文構成の体系性と整合性
4. 先行研究の取り扱いの適切性
5. 論旨展開の明確性と一貫性

経済学研究科

【修士課程】

1. 問題意識の明確さ
2. 研究の学術上の意義・貢献度
3. 研究方法の適切性
4. 先行研究との関連性と取り扱いの適切性
5. 論文構成の適切性
6. 論旨展開の明確さと一貫性
7. 表記・表現の適切性

【博士後期課程】

1. 問題意識の明確さ
2. 研究の学術上の意義・貢献度
3. 研究の独創性
4. 研究方法の適切性
5. 先行研究との関連性と取り扱いの適切性
6. 論文構成の適切性
7. 論旨展開の明確さと一貫性
8. 表記・表現の適切性

経営学研究科

【修士課程】

1. 研究課題の学術上の意義
2. 問題意識の明確性
3. 研究方法の妥当性
4. 先行研究の精査と関連性の明示
5. 論文構成の体系性
6. 論旨展開の整合性
7. 表記・表現の適切性と明確性

【博士後期課程】

1. 研究課題の学術上の意義
2. 問題意識の明確性
3. 研究方法の妥当性
4. 研究の独創性と学術分野への貢献度
5. 先行研究の精査と関連性の明示
6. 論文構成の体系性
7. 論旨展開の整合性
8. 表記・表現の適切性と明確性

中国研究科

【修士課程】

1. 学術論文として、注の付け方など、形式が整っていること。
2. 学術論文として、論理的な文章で構成されていること。
3. 依拠している資料への批判がなされていること。
4. 学術論文として、十分な量が確保されていること。
5. 先行研究の整理が批判的になされていること。
6. 自らの研究の位置づけがなされていること。
7. 自らの新たな知見が加えられ、その必要性が説明されていること。

【博士後期課程】

1. 学術論文として、注の付け方など、形式が整っていること。
2. 学術論文として、論理的な文章で構成されていること。
3. 依拠している資料への批判がなされていること。
4. 学術論文として、十分な量が確保されていること。

5. 新分野を切り開くものであること。
6. 研究として、一つの体系をなしていること。

国際コミュニケーション研究科

【修士課程】

<学位審査要件>

1. 学会、院生合同発表会、国際コミュニケーション研究科の発表会、あるいはこれらと同レベルの研究会で発表する。
2. 「学位請求論文」と「学位論文要旨」を各4部提出する。
3. 「学位請求論文」と公開の口述試験によって審査を行う。
4. その他、大学院学則に定めていること。

<学位論文審査基準>

1. 研究テーマおよび問題意識は明確か。
2. 先行研究を十分に踏まえているか。
3. 研究方法は適切か。
4. 主張に独創性があるか。
5. 主張の根拠が説得力のある形で示されているか。
6. 論旨の展開が明確か。
7. 論文構成は適切か。
8. 文章表現は適切か。
9. 引用および出典の記載は正確か。また、参考文献の書き方は適切か。

文学研究科

【修士課程】

1. 研究課題に関して学術上の（地域社会システム専攻にあつては実践的側面を加えた）客観的意義と独自性を持つもの。
2. 研究方法が適切であるもの。
3. 論文構成が体系的に一貫しているもの。
4. 先行研究を適切に考量しているもの。
5. 学位論文としての形式を備えているもの。
6. 学位論文としての適切な論述と文章表現を持つもの。

なお、その修士論文からいくつかの個別論文を作成することができ、その後の書き直しによって、学術誌に掲載される論文に相当する分量・内容であるか、それに準ずる分量・内容である

ことを望みます。

【博士後期課程】

1. 研究課題に関して学術上の（地域社会システム専攻にあつては実践的側面を加えた）客観的意義と独自性を持つもの。
2. 研究方法が適切であるもの。
3. 論文構成が体系的に一貫しているもの。
4. 先行研究を適切に考量しているもの。
5. 学位論文としての形式を備えているもの。
6. 学位論文としての適切な論述と文章表現を持つもの。
7. その研究が当該分野において新生面を切り開くものであること。